

平成27年度
予算額

一般会計
特別会計
合計

245億5,000万円
178億7,900万円
424億2,900万円

平成27年度当初予算案

地域・行政・災害…必要とされる情報をスピーディに市民の皆様へ！コミュニティFMを開局。

■国の動き

少子超高齢社会の急速な進展とともに社会保障関係経費が大幅に増加し、それに伴う赤字国債の発行により、日本の公的債務残高はGDPの233%、1000兆円を超えて、きわめて厳しい状況となっております。2年前に打ち出されたアベノミクスによる経済対策も、目標とした景気底上げの効果は十分とは言えない状況です。国では消費税率10%引き上げの先送りとともに、地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策を打ち出しています。多様な支援と切れ目のない施策を展開しながら、地域の消費喚起と人口減少が加速する地方の構造的な課題の解決に取り組むこととしています。

■牛久市は？

牛久市では若い世代の転入と税収の増加を最大の目標として、これまで取り組んできた施策を更に継続、具現化するとともに、地域間競争に勝つための効果的な事業を予算に盛り込みながら、前年度比4・2%増の一般会計245億5000万円、全会計424億2900万円の平成27年度予算を編成しました。

■市債

財政運営の最重要課題として取り組んでいる市債(借金)残高については、ピーク時(平成21年)の319億円から6年間で12億円減少させてきました。平成27年度は、平成26年度末見込額の308億5000万円からさらに1億5000万円減少させ、307億円となります。

■牛久市各会計予算

(単位：百万円、%)

会計名	平成27年度		平成26年度			比較			
	当初 予算額	構成比 (%)	当初 予算額	構成比 (%)	現計 予算額	平成27年度当初対 平成26年度当初		平成27年度当初対 平成26年度現計	
						増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)
一般会計	24,550	57.9	23,550	60.4	25,257	1,000	4.2	△707	△2.8
国民健康保険事業	9,640	22.7	8,501	21.8	8,533	1,139	13.4	1,107	13.0
公共下水道事業	2,380	5.6	1,919	4.9	1,933	461	24.0	447	23.1
青果市場事業	24	0.1	24	0.1	25	0	0.0	△1	△4.0
介護保険事業	4,577	10.8	3,788	9.7	4,451	789	20.8	126	2.8
工業用地造成事業	10	0.0	10	0.0	10	0	0.0	0	0.0
後期高齢者医療事業	1,248	2.9	1,194	3.1	1,200	54	4.5	48	4.0
特別会計合計	17,879	42.1	15,436	39.6	16,152	2,443	15.8	1,727	10.7
合計	42,429	100.0	38,986	100	41,409	3,443	8.8	1,020	2.5

※平成26年度現計予算額については、12月補正後の数値としています。

■特別会計 主な増減理由 ※()内は前年度当初比。

国民健康保険事業特別会計 96億4,000万円(+13.4%)…保険財政共同安定化事業制度改革
 公共下水道事業特別会計 23億8,000万円(+24.0%)…柏田排水区雨水管渠布設工事など
 青果市場事業特別会計 2,400万円(前年度と同額)…青果市場の運営と地産地消推進
 介護保険事業特別会計 45億7,700万円(+20.8%)…介護サービス給付費の増加
 工業用地造成事業特別会計 1,000万円(前年度と同額)…企業誘致に対する迅速な対応
 後期高齢者医療事業特別会計 12億4,800万円(+4.5%)…広域連合保険料納付金の増加

— 特集 —

平成27年度
予算案

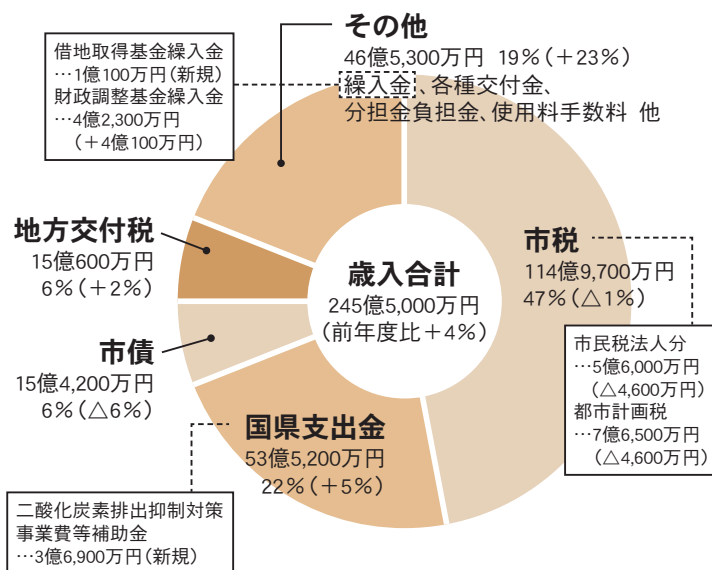
■一般会計の状況 ※円グラフ中()内は前年度比。□枠内は増減理由。

平成27年度一般会計歳入予算

市政運営の根幹を担う市税については、個人市民税で人口増加による増収を見込んでいるものの、固定資産税と都市計画税で評価替えの影響による減収が見込まれ、全体では対前年度比1%、約6,000万円の減額となりました。

また、国県支出金については、バイオマス産業都市構築やマイナンバー制度対応に伴うシステム改修への国庫補助金の増額などにより、対前年度比5%、約2億6,000万円の増加となりました。

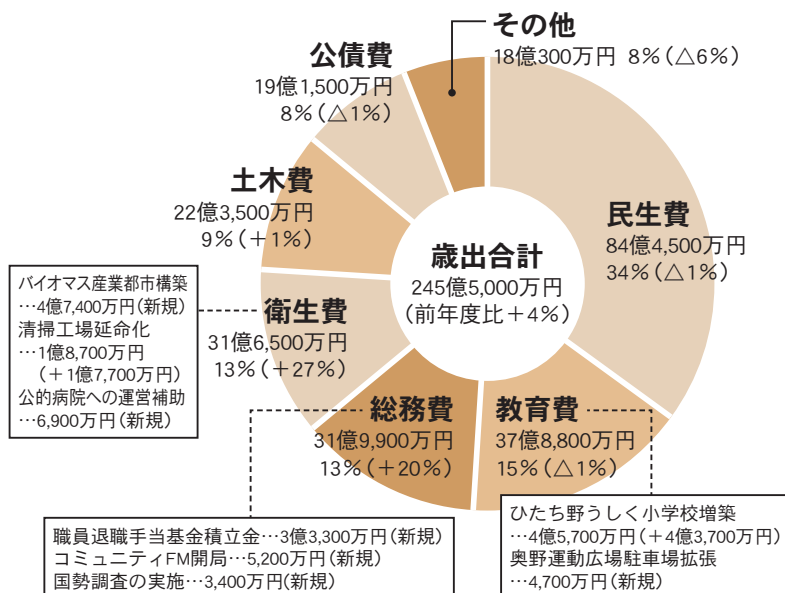
消費税率8%への引き上げに伴う地方消費税交付金の増額分(5億1,869万4千円)は、社会保障経費(総額87億1,241万3千円のうち一般財源41億8,422万6千円)に充当します。



平成27年度一般会計目的別歳出予算

目的別歳出予算の内訳を見ると、衛生費がバイオマス産業都市の構築、地域医療センター建設や公的病院への運営補助などの増加により対前年度比27%、約6億8,000万円の増加、総務費が職員退職手当基金積立金やコミュニティFMの開局費の増加などにより対前年度比20%、約5億2,000万円の増加、土木費が運動公園借地取得の増加や市道23号線整備費の減少などにより対前年度比1%、約2,000万円の増加となりました。

一方、全体の35%を占める民生費が、臨時福祉給付金の支給金額の減額などに伴い対前年度比1%、7,000万円の減少、教育費がひたち野うしく小学校校舎増築事業の増加や野球場改造事業の減少などにより対前年度比1%、約3,000万円の減少となっています。

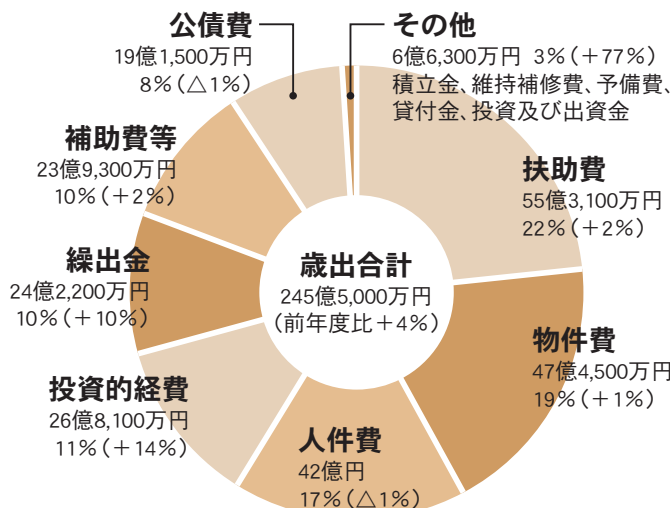


平成27年度一般会計性質別歳出予算

財政構造を分析するために、一般会計の歳出をその経済的性質を基準として分類したものが右の性質別予算です。

継続的な行財政改革の取り組みにより義務的経費のうち人件費が前年度比1%、約3,000万円の減少、公債費は対前年度比1%、約2,000万円の減少となったものの、扶助費が民間保育園運営支援や障害者介護給付費の増加により対前年度比2%、約1億円の増加となっています。

また、投資的経費については、バイオマス産業都市構築事業や牛久運動公園借地取得、ひたち野うしく小学校の増築、清掃工場の延命化などに伴い対前年度比14%、約3億3,000万円の増加となっています。



平成27年度重要施策

着実にできることから…

少子超高齢化に対応し、税収増加に繋がる事業を中心に予算を重点配分。

予防接種を実施する

2億1,011万円

担当/保健福祉部

予防接種法に基づく各種予防接種に対して、全額公費で負担します。

バイオスタウン構想を運用する

4,088万9千円

担当/環境部

廃食用油や剪定枝などの利活用により、地域循環型社会を構築しエネルギーの地産地消を図ります。平成27年度においては、BDF・木質ペレット燃料の製造業務委託およびBDF貯留タンク設置工事費や、製造に要する経費(原材料、電気料など)を予算計上しています。

CO2排出抑制対策補助金を活用してバイオマス産業都市を構築する

4億7,394万9千円

担当/環境部

バイオマス産業都市構築の一環として、地球温暖化対策地方公共団体実行計画を策定し、公共施設へのペレット・薪ストーブの設置や空調熱源改修などを通して、低炭素地域づくりを推進します。平成27年度は、太陽光発電設備の設置や、市中央図書館LED化工事などを実施し、二酸化炭素排出抑制対策を進めています。



ペレットストーブ



三日月橋生涯学習センターの太陽光発電設備

行政区集会施設の整備や管理に対する助成をする

4,044万8千円

担当/市民部

地域コミュニティ活動の拠点となる集会施設の整備・管理にかかる経費(集会所敷地賃借料、外構工事、修理、建築、解体)に対する補助金を交付することで行政区の負担軽減と施設設備の充実を図っていきます。今年度の主なものとしては、小坂団地行政区集会所の用地購入費および各行政区集会所の修理補助金などを予算計上しています。

(仮称)地域医療連携センターを建設する

1億1,000万円

担当/保健福祉部

牛久市と竜ヶ崎市・牛久市医師会(牛久支部)との共同により、地域医療の充実を推進するための施設を牛久自然観察の森入り口付近に建設します。



公的病院等の運営を支援する

6,864万6千円

担当/保健福祉部

地域医療に貢献している公的病院であるつくばセントラル病院に対し、特別交付税措置の範囲内で運営費助成を行います。

ふるさと寄附に対し特産品を返礼する

397万3千円

担当/総務部・経済部

牛久市にふるさと寄附をしてくださった方へ、返礼品として牛久市の農産・商工特産品をお送りし、市の特産品の魅力をPRします。



コミュニティFMを開局する

5,231万2千円

担当/市民部

牛久市の地域情報を発信するコミュニティFM放送を、平成27年8月に開始する予定です。開局準備にかかる工事費、機器購入費、また運営するNPO法人への放送委託費、補助金などを計上しています。



個人番号カードを運用する

2,899万3千円

コンピュータとその周辺機器を管理する

8,258万9千円

担当/市民部

マイナンバー制度の導入により、平成28年1月から個人番号カードの交付が開始されます。個人番号の通知カードおよび個人番号カードの発行事務経費、またシステム改修費を計上します。



4,878万7千円

担当/教育委員会

向台小学校の体育館について、地震などの災害から子ども達を守るための耐震補強工事を実施するとともに、老朽化している屋根などの改修を行います。

小学校施設を改修する

4,974万2千円

中学校施設を改修する

5,181万3千円

担当/教育委員会

小中学校の体育館、および武道場について、地震による落下物や転倒物から子ども達を守るため、天井材や照明器具などの非構造部材の耐震化などを実施します。

【実施学校】

小学校…牛久小・奥野小・中根小・向台小・神谷小・ひたち野うしく小
中学校…牛久一中・牛久二中・牛久三中・下根中

下根中学校のグラウンドを拡張する

2,586万円

担当/教育委員会

生徒数の増加により、増築棟の建設が必要な下根中学校において、増築棟建設に伴い、現在テニスコートなどに使用しているグラウンドの一部の使用が不可能となることから、グラウンドを拡張します。生徒達はこれまでと同様に、部活や体育の授業を執り行うことができます。

奥野運動広場駐車場を拡張する

4,697万4千円

担当/教育委員会

奥野生涯学習センター、奥野運動広場の駐車場を拡張し、市民体育祭を始めとした地区イベント開催時などの車の混雑を解消します。安心してお越しいただき、安心して過ごすことができる公共施設となるよう整備するものです。

市民とともに中央地区のまちづくりを实践する

1億5,442万円

担当/建設部

まちの活力づくりの一環として、安全ですべての人に利用しやすい牛久駅東口の再整備をすすめるとともに、けやき通りやシャトーカミヤと連携した周遊空間を整備します。平成27年度当初予算においては、東口再整備工事費を計上しています。



完成イメージ

運動公園野球場を改造する

2億3,405万6千円

担当/建設部

平成31年度に開催される茨城国体において、野球競技の開催候補地である、牛久運動公園野球場のメインスタンドの改造工事を実施します。



現在のメインスタンド

ひたち野うしく小学校を増築する

4億5,679万9千円

担当/教育委員会

ひたち野うしく小学校において、児童の増加が著しく、教室数の不足が見込まれることから、新たに校舎の増築を行い、生徒増への対応と、引き続き子どもたちが安心して学ぶことができる教育環境を整備します。

向台小学校体育館を耐震補強する

清掃工場の延命化を図る

1億8,655万1千円

担当/環境部

老朽化した清掃工場の延命化・長寿命化を図るため、国の補助金を活用しながら、計画的に基幹設備の改良を行います。平成27年度は5カ年継続事業の1年目であり、誘引通風機や温風送風機の更新などを行います。



牛久クリーンセンター(清掃工場)

危険な交差点の改良と歩道を整備する

700万円

担当/建設部

通学路となっている道路や交差点に、歩道整備や交差点改良を実施します。平成27年度は、神谷小学校通学路の市道9号線交差点ハンプ設置工事を実施します。

市道23号線(北側延伸第二工区)を改良舗装する

1億9,793万6千円

担当/建設部

市道23号線の計画北端となる県道田宮中柏田線から南への整備となります。平成27年度は県道田宮中柏田線と交差点改良工事、用地取得および家屋・工作物等補償業務を実施します。



平成26年度施工箇所

市道8号線を改良舗装する

6,800万円

担当/建設部

国道408号線と県道土浦龍ヶ崎線をつなぐ市道8号線の整備となります。平成27年度は、改良舗装工事、用地取得および工作物等補償業務を実施します。